

牛久第二小学校区タウンミーティング議事録

令和4年7月21日（木）15:00～16:20 本庁舎第3・4会議室

- 1 市長挨拶
- 2 市側及び行政区側出席者紹介
- 3 市政情報のご案内
 - ①交通安全対策事業・牛久駅西口改修事業について
 - ②ひたち野リフレ市役所窓口開設の進捗状況について
 - ③牛久市消費生活センターについて
- 4 行政区の意見等話し合い

～行政区の意見等話し合い～

エスカードビル行政区：エスカードビルに新しいテナントが入るなど再生の方向に向かってきていると思うが、一方で4階部分のテナントは入っていない。エスカードビルは、公共施設と商業施設からなる複合施設であり、駅直結であるため市の顔である。牛久駅東口は改修により良くなっており、西口は工事中であり今後使いやすくなることを期待している。エスカードビルから半径500mくらいの中心市街地エリアをどのようにしていくのか、まちづくりのビジョンをお聞かせ願いたい。

建設部長：現在、牛久駅西口の歩道橋への屋根設置工事と耐震補強工事を実施している。エスカードビルに直結しているので、屋根を設置することにより利便性向上を図っていききたい。現在、駅西口に公衆トイレはないが、設置を考えている。

エスカードビル行政区：つくば市では、ICTを活用して各交通サービスをつなぐ「MaaS（マース）」に取り組んでいる。将来的にかっぱ号などの公共交通機関を自動運転にするなど、マースを取り入れた取り組みは考えているか。

経営企画部長：公共交通の考え方については、都市の計画に基づいて進めている。マース等については将来的に検討が必要かと思うが、現時点では、いつ整備するかまでの計画はない。かっぱ号を中心として、デマンドタクシーの「うしタク」等、近隣市町村との連携を図りながら公共交通の充実を図っている。本年4月から、つくば市の「つくバス」が牛久駅西口に乗り入れることになった。また、稲敷市との連携では、広域バスが稲敷市から牛久市内を通り、ひたち野うしく駅までつながっている。かっぱ号を受託している関東鉄道(株)からもご提案いただいているが、自動運転やAIを活用した取り組みの具体的な話まではいってない。将来的には考えていきたいと思っている。

市長：駅前をどのような拠点としてまちづくりを行っていくかを考えたときに、文化の交流拠点になればと思う。市の西側には、小川芋銭さんや住井すゑさんに関連した施設があり、東側には牛久シャトーや牛久大仏がある。文化の拠点があることがまちの魅力であると思う。エスカートの4階に文化の拠点になるものをつくれたらと思い計画している。文化や歴史など、まちの魅力をどのように伝えていくべきかを考えている。武道館や野球場などスポーツ施設も充実しているので、これからのまちづくりにおいて、スポーツを中心に活性化を図っていくのもよいのではないかと考えている。

エスカートビル行政区：人口も頭打ちになり、多くの市町村が文化を重点としたまちづくりに取り組んでいる。新たな方向性で牛久の魅力を高めていくということで安心した。今後も、中心市街地活性化に向けた取り組みをお願いしたい。

二小地区社協（田宮行政区）：二小学校区の登下校見守りの方に対する交通安全講習会の実施と、洋チャン食堂前の狭い坂道の通学路整備に感謝申し上げる。2年以上、地区社協の活動や行政区の活動がコロナにより自粛になっている。閉塞感を感じ、コミュニケーションの場がないのでボランティアの担い手がなくなったり、行政区役員の担い手がいなくなっている。各地区社協や行政区にお任せするということがあったので、ある程度、市から指標を示してもらえると活動しやすい。意見を出した際は、コロナが収束に向かっている状況であったので、指標を示していただければと思っていたが、また感染者が増え、質問の観点がズレてしまったが、どのような方向で動いていくのか。土浦市、龍ヶ崎市、阿見町、つくば市は、イベントを前向きに開催していくという話を聞いている。自粛してばかりではいけないので、前向きにどのように進めていくのかをお聞かせいただきたい。

市長：行政区の事情もあると思うので、市から指示はしたくないと思っている。市からの指示がないと、行政区として何もできないと聞いたことがある。今の状況をみると、コロナに感染しても重症化しない。施設の規制をかけないで運営しようとしている。近隣市町村の対応に倣ってではなく、自主的判断で運営いただけたらと思っている。かっぱ祭りは、実行委員会が開催の判断をしている。中止ではなく、なるべく開催する方向、できる方法を考える開催を考えている。牛久シティマラソンも中止ではなくギリギリまで判断を待つようにした。市民号もそうである。コロナの環境下においてできることをやろうという思いでいる。コロナによりコミュニケーションの場が少なくなってしまったことは、活力あるまちづくりにおいてはマイナスである。たまり場補助金を上乗せしても、市民のコミュニケーションの場を設けることは大切と思っている。スポーツ施設に関しても、さらに活用すること

はできないか検討していきたい。皆様からもご提案があればお話を伺い参考にさせていただきたい。

保健福祉部長：市独自の行動制限の判断基準を持つことは、感染症という性格上、難しい。コロナ対策本部会議を重ねる中で、イベントに対し一律に規制をかけることはしないということで決定している。利用者や環境によって状況が異なるので、主催者と施設を使用するのであれば施設管理者の判断に任せるという内容になっている。国からイベントについて感染症に対する留意事項が出されている。マスクの着用、手指消毒の実施、3密を回避するといった基本的な感染対策は守ったうえで実施するような内容となっている。飛沫による感染力が強い「BA5株」に配慮したイベントを実施いただければと思う。国も行動制限をかけないとしているので、この先、感染状況が増えてきた際にどうするのかは不明であるが、基本的な感染症対策を取って実施いただくことになる。県の指標も、現在、ステージ2で行動制限はないが、感染者状況をみると陽性者数ではステージ3である。重症化が少ないということで、外出自粛やイベントの制限はかけていない。国が行動制限をかけないという中で、県がどのように判断するかは未定である。県がステージ3に引き上げた際に、市はどのような対応をするかについては内部で検討を始めている。基本的な感染症対策を講じていただき、前向きに事業を実施できるとよいと思う。

田宮行政区：ある程度自己責任で参加するという方向でよいのではないかと感じている。行政区の夏祭りについて、中止にしようかという意見も出たが、子供たちにとっての楽しみがないので、あくまでも自己責任で実施しようということになった。

市長：かっぱ祭りについては、実行委員会はどうしても開催したいという意向であった。延期にはなったが、どうにかしてかっぱ祭りに代わるイベントを開催したいということで、今月末の土日、牛久シャトーにおいてお祭りを開催すると聞いている。主催者だけの責任ではなく、参加した人の自己責任もあると思う。コロナ禍になってから、成人式は2回実施したが、開催にあたっては主催者である新成人が決めることである。どのような工夫をすれば開催できるか、開催決定にともないどのような責任を負うのかを考えることは、まさしく成人になったという自覚のもとにあるのではないか。工夫すればできることはたくさんあるが、反対の方も多くいるので判断が難しい。中止するのではなく、開催する前提で物事を考えようという思いでいる。

田宮行政区：道路の路面安全表示について、いつ頃実施いただけるか計画をお教えいただきたい。2年前から意見している場所で、高齢化が進んでいる第2つつじが丘のエリアなので整備いただきたい。

市民部長：早急に対応するという事で建設部と話をしている。一部、規制がかかる一時停止線等は、警察の管轄であるので、市でできる部分は着手できるように準備をしている。年内には実施したいと考えている。

第2つつじが丘行政区：年内か、年度内か。12月までということか。

建設部長：予定としては年度内にということで協議している。警察と協議しており、いつ発注するかは未定であるが、年度内には実施したいと考えている。

第2つつじが丘行政区：警察の管轄部分か、それとも市の部分か。

建設部長：センターラインや外側線については市で実施する。

第2つつじが丘行政区：ひたち野リフレ市役所の窓口開設は今秋とあるが、具体的には何月頃か。

総務部長：現在、設計を行っており今後工事に入っていく中で、建築資材の確保が遅れるなどの状況があるので、時期は決定していない。改修工事に入れば、ある程度のお知らせはできるものと考えている。

つつじが丘行政区：つつじが丘行政区は外国人が多く住んでおり、回覧板を配布しても内容を理解できないと聞かれることがある。市は、言語の分からない外国人に対してどのような対応をしているか。回覧物の外国語版は用意しているか。特に、ごみの出し方の表を見ても絵だけで分からないとの話があった。

市民部長：市の情報発信としてホームページがあるが、外国語対応となっている。自動翻訳により7か国語での案内を可能としている。市が発行する紙の回覧物は、外国語対応をしていない。同じ内容がホームページに載っている場合は、自動翻訳により多言語対応している。紙の回覧物については、翻訳の希望があれば市民活動課の国際交流担当者が対応することはできると思う。

つつじが丘行政区：市役所を訪問すれば、スペイン語にも対応していただけるか。

市民部長：国際交流担当の職員がスペイン語対応できる。

つつじが丘行政区：ご対応いただけるとのことでした。

市長：翻訳アプリを使用しても対応は可能と思う。外国語対応でお困りの際は、市役所の窓口を訪ねていただきたい。

秘書課長：市民活動課の国際交流協会の職員が対応するが、毎日出勤しているわけではないので、事前にお電話いただければと思う。

田宮行政区：市道23号線が一部開通したが、道路の両端に花壇がある。どこが管理しているか。対応について市の考えがあればお聞かせ願いたい。

建設部長：管理しているのは、市の道路整備課である。今年度、一部の植栽についても市が管理している。将来的にボランティアで管理を希望される方がいたら、協議したいと考えている。実際にボランティアの方が、道路整備課の窓口に来て、道路占用許可を取り、整備したいという件があり協議中である。

田宮行政区：ボランティアが入らない部分はどのように管理するのか。

建設部長：市で管理する。

つつじが丘行政区：市道 23 号線の刈谷の交差点から、薬師寺手前の交差点まで、昨年、道路整備課に道路占用許可申請をし、花を植えている。道路整備課から、公園里親制度を適用してボランティアの方々に維持管理費をお支払いできるか検討すると聞いたが、回答がない。春になると芝桜がきれいに咲き誇り、住民の交流の場所になっている。現在、約 15 名のボランティアが毎日草取りや水まきを行っている。助成金を含めて回答をいただきたい。

建設部長：公園里親制度ではなく、道路里親制度を創設する予定で、ご活用いただければと考えている。

市長：行政区の皆さんに野菜を栽培していただければと思う。

本町行政区：牛久シャトーでイベントが開催されるとのことであったが、牛久シャトーを整備する予定はあるか。かなりの雑草が繁茂している。牛久シャトーを牛久の顔にするのであれば、もっと整備した方がよいと思う。

市長：経営状況もあり、社長も頭が回らないようである。先日、建設業組合の方々にきれいに整備していただいた。8 月 27 日の「日本遺産フェスタ」においても、開催日前に市役所やボランティアで手入れをしようと考えている。敷地内整備の経費が確保できない現状があり、負のスパイラルになっている。業者を入れたいが、入れられないという悪循環にもなっているので、皆様のお力を借りながら経営を考えていきたい。

本町行政区：まさに負のスパイラルになりつつあるのできれいに整備すべきと思う。人が来ないと思う。

市営駐車場の周りを草刈りしていただいたが、後始末がされていない。道路側はきれいに実施いただいたが、駐車場内部に刈った草が散らばっている。

建設部長：市が委託しているものなので対処したいと思う。

エスカードビル行政区：ひたち野リフレ市役所の窓口に関して、AI を活用した非接触型の窓口が流行っているが、地方創生臨時交付金を活用すれば、自治体の負担は実質ゼロかと思うが、有人型を想定しているか。AI 対応の窓口を検討しているかお教えいただきたい。

総務部長：原則、人が対応する形で計画している。できる限りリフレの窓口でできない業務がないように完結する体制が取れるよう考えている。本庁舎とリフレの職員とでやり取りを行い、データ通信による証明書の出力などを検討している。AI 技術の導入は考えていないが、少人数でも市民の必要とする手続きが完結できるようにしていきたい。

つつじが丘行政区：市の I T 化の進み具合はどうなっているか。今後どのような取り組みを考えているか。

市民部長：今年度から行政のデジタル化に対応するため、デジタル推進課が創設された。行政のデジタル化については、国で目標を定め、自治体はそれに準じて進めていくこととなっている。デジタル化が推進されると市役所に行かなくても手続きができるということになる。現在、牛久市のマイナンバーカード交付率は、46.9%であり県内6位。市民の意識の高さを感じている。デジタル手続きを行うには、マイナンバーカードを取得いただかないことには話が進まない。国は、令和5年3月までに全国民のマイナンバーカード取得を目標としているので、市としても交付を推進していきたい。

市長：ノルウェーは、市役所に行かなくてもオンラインによる行政手続きができてしまうとのことである。事務の中で発生する入力ミスなどに気付くのは、人間の目などのアナログな部分も大いにある。信じ切って事務を行っていると、ミスが続いたままになってしまうので考えていきたい。ストリートピアノができるように、エスカードにピアノを設置できないか検討している。いつの設置になるか決定していないが、おそらく2階に設置することになると思う。

16時20分 閉会